

設立10周年記念 オンラインシンポジウム なごやの生物多様性 ～2030年に向けて～

開催日時 令和4年1月22日(土)
13:00 - 17:00

センター／協議会は、身近な自然の保全再生に向けた市民(団体)・専門家・行政等による協働の推進拠点として、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の翌年設立され、2021年に10周年を迎えました。

そこで、これまでの取り組みを振り返るとともに、今後10年で目指すべき姿を皆さんと考えるシンポジウムを開催します。

第1部 基調講演

五箇 公一 さん (国立環境研究所 生物多様性領域 室長)
「ワンヘルス～生物多様性保全と感染症管理～」



裏面に演者のお二方からのメッセージがあります

第2部 提言

香坂 玲 さん (名古屋大学大学院環境学研究科 教授)
「愛知なごやから考える生物多様性のこれからの10年」



第3部 座談会

協議会幹事・高校の生物部の皆さん、五箇さん、香坂さん 他
「センター／なごビオの未来」 ※ なごビオ = 協議会の愛称



申込方法

件名に「シンポジウム視聴希望」と記載した電子メールをお送りください
申込締切：令和4年1月17日(月)

申込・問合せ先

名古屋市環境局なごや生物多様性センター
TEL: 052-831-8104
E-mail: bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp



メール送信用 QR コード

五箇 さんからのメッセージ

人間社会の安心・安全と持続性は、健全な自然環境の基に成立します。新型コロナのパンデミックは私たちに改めて自然共生の重要性を突きつけました。最近よく耳にするようになった「ワンヘルス」。その意味と意義は何か？生物多様性と人間社会の関わり方の観点から具体的なデータを紹介しながら考えてみたいと思います。

【PROFILE】

国立環境研究所 生物多様性領域 生態リスク評価・対策研究室長として、侵略的外来種の生態リスク評価や、生物多様性および人間社会を脅かす生態学的リスク要因の管理に関する研究を行っている。なごや生物多様性センターが設立当初開催した第1回シンポジウム（2012年）に基調講演及びパネリストとして参加。

香坂 さんからのメッセージ

2022年春に開催される生物多様性条約COP15において「愛知目標」の後継とも言える「ポスト2020生物多様性枠組」が策定されようとしています。今後、これを受ける形で世界が動き出し、日本も生物多様性国家戦略の改定が予定されています。

日本全国でも地域の風土と製品の繋がり、生態系とその恵み、地域の産品など、各地域の足元の取り組みが見直されています。

ナショナルな「次期生物多様性国家戦略研究会」が取りまとめた“目指すべき2050年の自然共生社会の姿と2030年までに取り組むべき事項”とローカルな取り組みについて、なごやから考えます。

【PROFILE】

名古屋大学大学院環境学研究科 社会環境学専攻 環境政策論 教授として、環境政策・森林政策を軸に生物多様性と地域の営み・文化の関係を考え実践的な提言も行っている。COP10支援実行委員会アドバイザー（～2011）や生物多様性2050なごや戦略策定会議委員（～2010）としてなごや生物多様性センターの設立に関与。

なごやの生きもの情報ポータルサイト

なごや生物多様性保全活動協議会ウェブサイト

なごや生きものライブラリー

